

アユなどにやさしい江戸川を目指して えどがわすいこうもん 江戸川水閘門周辺で調査をしています



じょうりゅう とねがわ せいちょう
上流の利根川で成長したアユは秋に産卵し、卵からか
えった稚魚は海まで降りてしばらく海で生活します。そ
の後、成長とともに再び川をのぼりはじめますが、江戸
川水閘門には魚の通り道(魚道)がないため、アユは簡単
にのぼることができません。

こくどこうつうしょう えどがわかせんじむしょ
国土交通省江戸川河川事務所では、魚の調査や水閘門
の開け閉め、簡易的な魚道の実験により、アユなどの魚
類がのぼりやすい環境づくりを目指しています。

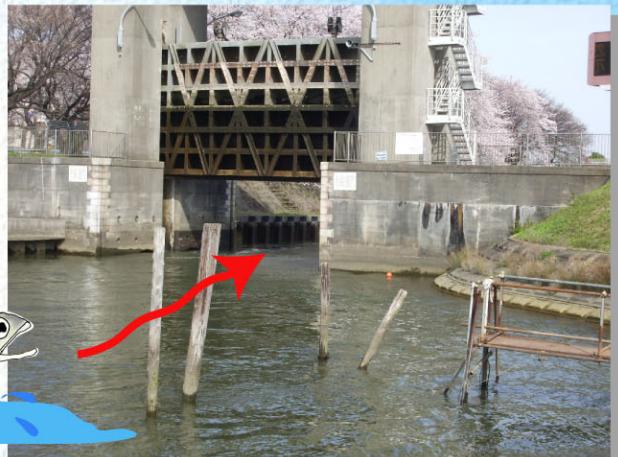
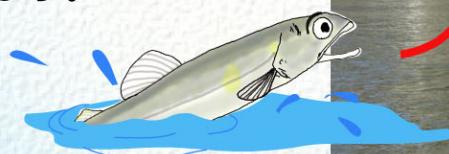
こくどこうつうしょう えどがわかせんじむしょ
国土交通省 江戸川河川事務所では
かんきょう
アユなどがのぼりやすい環境づくりを
じょうさ じっし
目指した魚の調査を実施しています



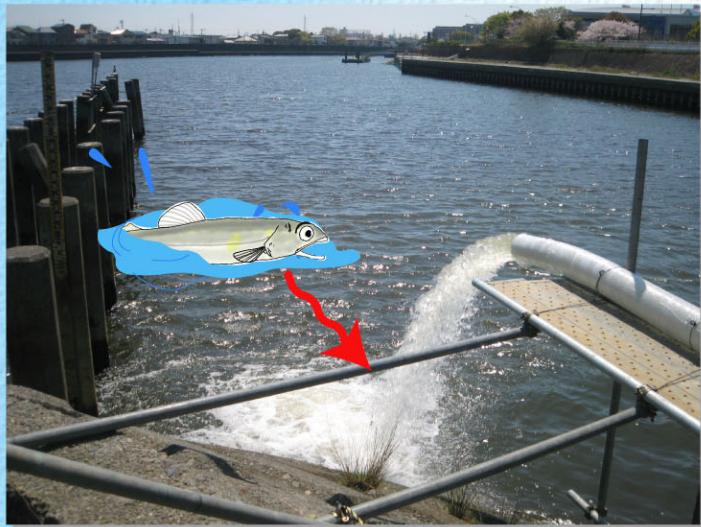
アユなどを上流へのぼらせるため 次の調査を行っています

①閘門の効果的な開け閉めによって、アユを上流へのぼらせることができるか？

アユは水の流れてくる方向へ泳ぎます。閘門を開けると上流から水が流れてくるため、アユは閘門を通って川をのぼることができます。そこで、閘門を開けた場合、どれくらいのアユがのぼっているのかを調べています。



②ポンプで水を流すことにより、アユを上流へ誘導できるか？



閘門を開け閉めする時間は限られており、水の流れが十分ではありません。そこで、ポンプを設置して水の流れを人工的に作りだします。そして、この流れに向かって泳いでくるアユを、上流へ誘導することができるのか調べています。

③簡易魚道を設置することで、どれだけのアユが魚道をのぼるか？

閘門を通らずに水門側へ進入した多くのアユは水門の下流でのぼれずにいます。

そこで魚の通り道(簡易魚道)を設置し、閘門側へ移動させることができあるか実験をします。

平成21年は、簡易魚道の設置によってどれくらいのアユが簡易魚道を利用するか調べ、その効果を確認します。



◆お問合せ先◆

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

調査課 04-7125-7317

江戸川河口出張所 03-3679-1460